

# 月報岡崎の教育

平成5年度 No.239～250



岡崎市教育委員会



## 4月号

平成5年4月1日

発行／編集

岡崎市教育委員会

満開の

桜の花びらのじゅうたんの上

あなたたちは

去年と同じように

花吹雪を 空へ舞い上げては

はしゃいでいる

ほら ほら

先生になつたばかりの

あなたたちの先生が

困つたような顔をして

見つめてらつしやるでしよう

もう 今日から

二年生なんだから

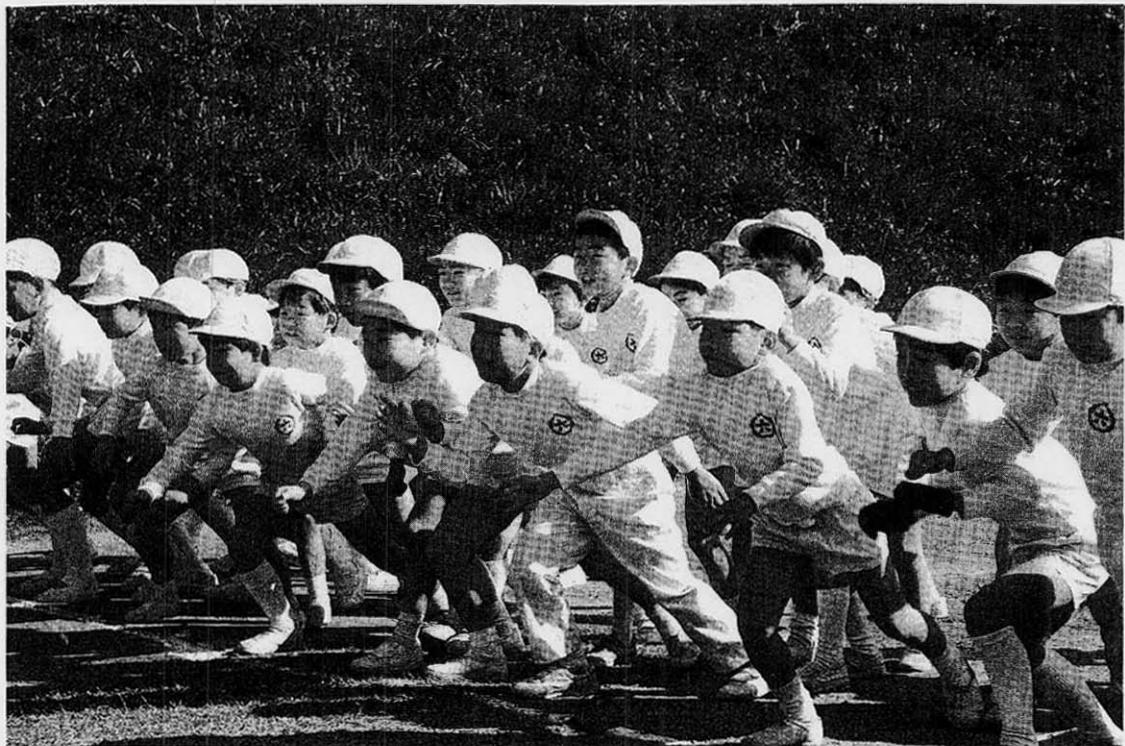
もう少し しつかりして

先生のおつしやることを

よく聞くんですよ

花畠りの空の下  
今日は始業式

&lt;始業式&gt;

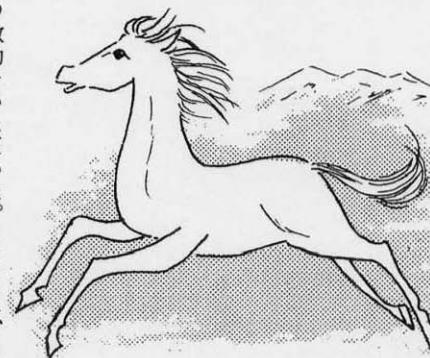


(さあスタートー 六名小)

つい先日、岡崎市の中学校長、教育長を歴任されたS先生と偶然お会いする機会があった。

「岡崎高校はよくやっている。愛知県の高校から全国でも屈指の学校になってきた。これから、更にがんばってください。」

と、本当に心あたたかい、しかも本校の現在の状況をよくご承知の上で



### 一 教育隨想一

## いま、岡崎高校は…



愛知県立  
岡崎高等学校  
長  
三浦 定夫

の激励をいただいた。まことに、うれしいことであり、ありがたい気持ちで一杯であった。

私ども岡崎市内の学校に勤務する教職員は、小・中・高と立場の違いはあるが、将来の岡崎市を支えてくれる未来の良き市民を育てるため、連携を密にし、相互によく理解し合つて、手を携え協力していくべき仲

間である。しかし、そう言いながら私自身は不勉強のため、市内の小・中学校について承知していないことが多い折に、この大先輩の一言は、心に感じるものがあった。

平成四年度末の本校の進路の結果は、まだすべて出そろつてはないが、S先生の言われたように、昨年に引きつづいて、東京、京都、一橋

の国公立・私立の大学に合格する力を持つてくれる事である。入学者としてくる生徒が優秀だと言つてしまえばそれだけかもしれないが、小・中学校で大切に育てられた生徒達を

お預りするのだから、一人一人を大切にしようという本校職員の理念と努力の成果と思われ、うれしいことである。

本校の場合、ともすれば大学への

進学状況だけが話題として取り上げられるがちであるが、文化祭や体育大会をはじめとする学校行事や、部活動においても生徒の活動がきわめて活発である。円満でバランスのとれた人物を育成するためには、文武両道の指導が重要であり、自分さえよければという利己主義や、勉強と成績だけを偏重することは良くないといった考え方を徹底している。将来の大器を育てるためには、当然のことである。

「教育隨想」というよりは、学校の紹介になってしまつて恐縮しているが、諸先生方のご支援とお力添えがあるが、心から願つている。

(みうちさだお)

名古屋、早稲田、慶應等の超難関大学において、全国区で順位を数えられるほどに、多くの合格の朗報を聞くことができた。合格の一つかずが汗と涙の栄冠である。

さらに、これらの大学の合格者に対するのと同様に、私が誇らしく思っていたのは、校内では順位をつければ下位にある生徒が、校外では中位以上

**羅針盤**

保健体育科指導員

本多 久勝

中学生になつても、マットに手が着けない子やボールを投げたり受けたりできない子、直線をまっすぐに走れない子が増えている。この現実をどう捉えればよいのか。戸外で遊び機会が少なくなり、生活様式が変化したことの原因の一つであろう。しかし、それだけだろうか。体育の授業そのものに起因する部分もあるのではないかだろうか。

ボーラー一つで力まかせの方形ドッジボールが延々と続く。インターバルも高さも同じハーダルのコースが二組並んでいる。先生の工夫も創意もない授業が、日頃の授業では多く見られるようである。これでは、個性の尊重も仲間意識の向上も望めない。バスケットやサッカーにおいても、チームで作戦を立てたり、練習方法を考えたりする時間や場所が保

# この人に聞く



## 木版画家

デイヴィッド・ストーンズ 氏

人を離れ車のすれ違いができる  
いほどの細い山道を走っていくと、  
内表示が見えた。「ストーンズさん  
がなぜ石多さんだらう」としばらく  
考えたが納得した。

小川のせせらぎを耳にし、田の上  
を吹き抜ける冷やつとした風に頬を  
撫でられながら、梅の木立の間を登  
つて行くと、一軒家があつた。スト  
ーンズさんのお宅である。岐阜や三  
重にも足を延ばし、三年がかりでや  
つと探されたという古い農家の空家  
を自分で修繕。ここで十年余りをお

過ごしてある。

「日本と英国は経済面の交流はある  
が、互いに本当はよく分かってい  
ないような気がしますね。日本人  
と英国人は、考え方や歴史の上で  
もよく似た面があります。ほんの  
少し立ち寄っただけでは分かりま  
せん。」

と言われるストーンズさんは、世界  
各地を旅行中、偶然寄ったというこ  
の日本で、もう二十一年めを迎えた  
とあります。ほんの少し立ち寄っただ  
けでは分かりません。」

大学で印刷及びデザインを学ばれ  
た氏は木版画に魅せられ、京都市在  
住の版画家・徳力富吉郎氏の教えを  
受けられた。以後独学で勉強を続け、  
自宅にスタジオギャラリーを開設され、個展も開催しておられる。

「版画は機械を使わず、全て手づく  
りです。紙も木も全て自然の物を  
使うわけですから、環境面で問題  
がないのが何よりです。」

と語られるストーンズさん。

今、自然の価値が分からぬ人が  
多く、森を切つても木を植えない、と  
思われるという氏の心と自然を大切  
にされる姿勢に強く感銘を受けた。  
どんなものを題材にして版画を彫

つているのかをお尋ねした。

「隠れた三河、あまり有名でないもの

をテーマに彫っています。古部

町の蔵、水車、三龍社のれんが造

り、木の学校等々ですね。」

いつも見なれていても、あまり気  
付かずに入るもので、テーマにすると  
言われた言葉が印象に残った。

「版画製作は時間がかかります。さ  
さつと創りたくないですね。たく  
さんよい作品を創りたいです。」

若いう人の触れ合いを楽しみなが  
ら英語も教えられている氏の木版画  
に寄せる夢は大きく広がる。

氏名 デイヴィッド・ストーンズ  
生年月日 一九四五年六月九日  
住所 蓬生町字坊ノ入二三



障されていない。ますます能力差があり、一人ひとりの能力に応じた指導を期待することは難しい。

この辺りを我々教師が、真摯な態度で反省し、今一度真剣に取り組む必要があるのではないか。

新卒三年目のO先生の授業を、縁あって二度見る機会があった。柔軟で温厚な表情の中に、子供を引きつけれる魅力を感じさせた。一年目の授業は、先生の熱意と研究熱心さが伝わってきた。三年目は、子供一人ひとりの個性を大切にした授業展開で

先生と子供、子供と子供の人間関係が非常に素晴らしい。運動技能の定着度も高い。しかも、先生の指示はほとんどなく、自分たちの計画に従つて真面目に取り組んでいる。

O先生が日頃から子供や授業に対して、真正面から取り組んでいる結果であろう。先生の子供を愛する姿勢、教育に対する情熱を感じずにはいられない。

体育に限らず、授業に対する教師の姿勢を再確認したいものである。

### 【推薦する専門書】

「中学校体育実践指導全集全十巻」

日本教育図書センター

（体育科教育92・7別冊）

【基本の運動の授業】

大修館書店

# 学校教育の視点

— 平成5年度 —



平成四年度からの新しい小学校学習指導要領の全面実施を皮切りに、平成五年度から中学校と、いよいよ新指導要領による教育課程が本格実施となつた。二十一世紀に向けて新しい教育への幕明けである。私たち教師一人ひとりがその内容を正しく理解し、知・徳・体の統一ある児童生徒の育成と生涯にわたる学習を支える基盤の形成に全力で当たりたい。

(一) 学ぶ喜びを知り、自ら学ぶ態度や習慣を育てる

だれもが、分かりたい、できるようになりたいという欲望を持つている。子どもたちは、自らの力で問題が解決できたとき、大きな喜びを感じ、自信を持つて次の行動に發展させるものである。

教師は、一人ひとりの子どもが自ら考え、行動する自主的な学習態度の形成を願い、特に次の二点に留意して指導したい。

第一は、子どもの生活の身近なかから問題を掘り起こし、自分の課題として解決への必要感を持たせる指導の工夫をすることがある。教師は、子どもの実態を的確に把握し、子どもに新鮮で感動を与える教材の

理解し、知・徳・体の統一ある児童生徒の育成と生涯にわたる学習を支える基盤の形成に全力で当たりたい。

第二は、基礎的・基本的な知識・技能を定着させるとともに、学習の仕方を身に付けさせることである。

学校教育において大切なことは生涯にわたって学び続ける基礎的知識や学習の仕方を身に付けさせ、自ら学ぶ意欲や意志力を高めた自己教育力を培うことである。教師は、常に一人ひとりの子どもの日々の姿を注意深く見守り、それぞれの子どもに応じた指導ができる能力や技能を高めたい。

(二) 礼節を重んじ、ここころ豊かな児童生徒を育てる

今日の科学技術は、日々急速な発展を遂げ、私たちの生活は満ち足りたものになっている。しかし、物質面の豊かさにひきかえ、心の貧しさや道徳性の欠如は目に余るようになつた。この現実を踏まえ、「礼節」と「ゆたかな心」を重点に、学校教



## 学校教育の視点

社会の変化の激しい今日にあって、学校教育に求められているものは、知・徳・体の調和のとれた児童・生徒の育成と、生涯にわたる学習を支える基盤の形成である。

岡崎の教師は、教育者としての使命を自覚し、全校一致の指導体制のもと、敬愛の情で結ばれた師弟関係をさらに強め、学校・家庭・地域が一体となつて、児童・生徒の健やかな成長を願い、岡崎の教育の創造に努めたい。

### 指導の重点

一、学ぶ喜びを知り、自ら学ぶ態度や習慣を育てる。

一、礼節を重んじ、こころ豊かな児童・生徒を育てる。

一、自らを律し、たくましく生き抜く力を育てる。

育のすべてを通して、心の教育に取り組んでいきたい。

礼節については、特に「挨拶」と「返事」を大切にしたい。教師と子ども、また子ども相互に望ましい人間関係が存在しないところに眞の教育効果は期待できない。心の通った明るい挨拶、元気で大きな返事のあるところに信頼関係ができる、本物の教育が生れる。また、目上の人に礼を失してはならないこと、先生や親に対する礼節の大切さを教え導くことも大切である。

ゆたかな心については、野外活動や勤労体験学習、奉仕活動、動植物の飼育栽培学習を通して、子どもたちに、汗を流すことの尊さ、命の大切さ、思いやりの心、奉仕の心を体得させたい。

やる気は子どもが伸びようとする源であり、自分を形成する力でもある。一人ひとりの子どもが、それぞれ自分の目標を定め、自らの意志で努力する体験を積み重ねる中で、心のゆたかさを育てていきたい。

て、人として守るべき規範が、子どもたちに教えられてきた。しかし、

今日それらの教育力は低下し、さまざまな問題が生じている。そのため

に、自分で自分を律し、たくましく生きていく力を育てる必要がある。

その第一は、基本的な生活習慣の徹底を図ることである。集団生活をしていく上で必要な基本的なことを

体得できるまで繰り返し指導したい。

その体得の過程で、自己の規範が芽生え、自律の心が育っていく。

第二は、困難に耐えぬき、立ち向かう力をつけることである。たとえ失敗しても挫折することなく、最後まで挑戦する粘り強さ、たくましさを身につけさせたい。

今、登校拒否、いじめ、非行などいろいろな問題が指摘されている。その原因として、家庭や地域社会における子どもたちの人間関係の希薄さが上げられるが、一番大きな要因は困難に耐え、それを乗り越えるたぐましさの欠如にある。

教師は、使命感・責任感・情熱、そして、子どもたちに対する愛情とたくましい行動力・実践力を持つて全校一致の指導体制のもと、子どもたちの健やかな成長を願い、岡崎の教育の創造に一層の努力をしたい。

### (三) 自らを律し、たくましく生き抜く力を育てる

かつては、家庭や地域社会において

て、人として守るべき規範が、子どもたちに教えられてきた。しかし、今日それらの教育力は低下し、さまざまな問題が生じている。そのために、自分で自分を律し、たくましく生きていく力を育てる必要がある。

# ふれあい

二つの言語の中で  
メリシコ日本人学校

金指由香里

「おはよう」「ブエノスデ  
ィアス」、日本メリシコ学院の  
朝は日西両国語が飛び交う。

本校は日本コース（メリシコ  
日本人学校）とメリシココ  
ースがあり、日本の子供とメリ  
シコの子供が同じ敷地内に学  
ぶ国際学校である。運動会を  
始め年間を通して数々の交流  
行事や合同授業を行っている。

赴任二年目の今年は、小学  
部二年（三十六名）の担任で  
ある。学級の子供のうち、メ  
リシコや他国籍を持つ子は十  
二人。特に日本語力の不足す  
る子に対する言語補充指導に  
も学校全体で取り組んでいる。  
R男もそうした言語補充対  
象児の一人である。入学した  
時のR男は全く日本語が分か  
らず、「ぼく、もう日本語や

りたくない」と、毎日泣いて  
いた。将来のこととも考えると、  
メリシココースか現地校へ編  
入した方がよいのではと思わ  
れた。

しかし、両親の「日本の教  
育を受けさせたい」との思い  
は強かつた。

その後、特設授業を受けた  
りして、次第に日本語の力を  
伸ばしてきた。言語補充対象  
児のほとんどは、家ではスペ  
イン語、学校では日本語の生  
活をしている。国際学校たる  
本校の抱える課題である。し  
かし、教師は、こうした子供  
に助けられることも多いので  
ある。



## 汽笛の仲間たち

六ツ美北中学校教頭 織田 和幸

先生、その後お変わりあり  
ませんか。私の方は三月九日  
に第一回の卒業式を終え、新  
設校の第一ラウンドが終わり  
に近づいています。

三月というと、十年前の先

生の退職記念の授業が思い出  
されます。中学卒業後、二十  
八年ぶりに母校竜中の木造の  
教室でうけたあの授業は、今  
も鮮明に覚えています。授業  
の前に出席をとりながら、一  
人ひとりに一言ずつ語りかけ、  
授業に入つていかれたあの笑  
顔は今も忘れません……。

昭和三十一年の卒業後、昭  
和三十四年まで、グループの  
リレーで出し続けた同級生の  
新聞「汽笛」、昭和五十三年ま  
で発行した同級生の文集「汽  
笛」。そして、いまだに毎年開  
いている同級会。このわれわ  
れのつながりはどこからきた  
ものでしょうか。

学級新聞や文集を作るグル  
ープのリーダーが、中学卒業

後もずっと岡崎において、集ま  
りやすかったのは確かです。  
それよりももっと大きな理由  
は、卒業後も「誕生日の手紙」  
を通じて温かく見守る先生が  
あつたからだと思います。良  
い仲間を作つてくださった先  
生に、心からお礼申しあげます。

## 師弟同行

断想

現岡崎学園高校勤務 岸田 達夫



お便り拝見。すぎし何年か  
前、感動の数々を噛みしめて  
いる。それにしても、わたし  
は若かつたなあ。向こう見ず  
でいちばん自分がいと  
おしい。

とかく知識技能の授受の多  
い教師対生徒の授業の場では、  
なかなか心を開きあい感動を  
得ることは難い。教科指導、  
生活指導などという形式的な  
枠にとらわれずとも、温かい  
眼ざしを注げば、道はいくつ  
もある。

小中あわせて担任教師とし  
て十八年、特に中学教師とし  
て初めてであった君たちとの  
出会いは心に残る。

学級新聞「汽笛」を手がか  
りに、おたがいの心を解き放  
とうと、学級文集にまで学級  
としての君の努力も大変だつた  
けど、生徒・教師総ぐるみの  
明るい雰囲気は、他のクラス  
にはないすばらしいものだつ  
たと思う。

・理事長賞 美川中学校

### ◆第四回松下視聴覚教育研究賞

・議長賞	梅園小六年	鶴田 美佳	広幡	矢作北	藤川 清水孝治
北 中二年	仲野 美輪	井田 山元嘉与	香川哲範	澤入弘美	山中 太田康子
尾崎智佳	愛宕 恒川 徹	神谷洋江	中根桂世子	西山香理	本宿 加藤美知代
	鷹野美穂	新香山	稻次義明	三戸良一	秦梨 山本敦子
	竜南	木村浩子	中山美希子	田中文子	細川 宇都木靖弘

・市長賞	矢南小四年	山本 祥寛	梅園志代	六美中	西倉理恵
六美中一年	砂田 裕美	飯尾容子	多湖実智代	六美北	手島英樹
竜海中二年	太田亞紗子	狩野清美	城南	大島美保	洲崎恵里
議長賞	神谷 佳佑	近藤志代	田中真享	矢作西	矢作南
梅園小四年	連尺	柴山房代	吉川直美	天野拓夫	石川香里
六美中一年	羽根坂 浩治	岡崎 松浦修司	吉川圭美	小出恵子	小出恵子
竜海中二年	岡 岩根坂	六名 太田恵美子	北野 伊豫田雅代	六美南	矢作北
議長賞	岡 丹下義輝	太田恵美子	矢作	青山照美	手島英樹
梅園小六年	岡 長坂博子	太田恵美子	竜海 佐野優子	大島美保	大門 小野貴子
北 中二年	岡 磯村彭久	太田恵美子	福岡 鈴木のり子	矢作東	山崎彰伯
尾崎智佳	村田啓子	太田恵美子	福岡 稲垣里菜子	西倉理恵	細川 平岩枝里子

◆全国小中学校環境教育賞	美合小学校・恵田小学校	◆平成五年度防火作品	期待の新人は次の通り。
・奨励賞		・ポスターの部	〔小学校〕五十三名
・美合小学校・恵田小学校		・市長賞	梅園 飯尾容子

新規採用教員は、七十名（男二十二名、女四十九名）である。

期待の新人は次の通り。

〔小学校〕五十三名

梅園 飯尾容子

・

近藤志代

六美中

・

小芦友恵

・

石川紀子

・

吉田道代

・

吉田道代

六美北

六美南

六美南

・

坪子喜代美

・

古里里由美

・

太田智恵

・

太田智恵

新規採用教員は、七十名（男二十二名、女四十九名）である。

期待の新人は次の通り。

〔小学校〕五十三名

梅園 飯尾容子

・

近藤志代

・

柴田広子

・

吉田道代

・

吉田道代



◆平成四年度愛知県自作視聴覚教材コンクール  
・優秀賞  
「生まれ変わる石」

◆和算  
視聴覚・理科部

藤川 清水孝治  
山中 太田康子  
本宿 加藤美知代  
秦梨 山本敦子  
細川 宇都木靖弘  
大門 小野貴子  
矢作東 竹内はるみ  
西倉理恵



梅園小

「子供たちにやさしさと思いやりの心を」と、設計から施工まですべて父母の手作りの動物飼育舎ができた。動物たちとのふれあいの場は、いつも人気集中。



昭和初期の大衆娯楽雑誌といえ、大日本雄辯会講談社の「キング」に代表される。同誌は、昭和二年から翌年にかけて百万部突破のピークを迎えて、大衆娯楽雑誌は黄金児童少年少女雑誌においても、「幼年俱楽部」「少年俱楽部」「少女俱楽部」といった有力誌が着実に部数を伸ばしていた。

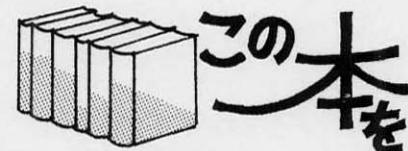
ここに紹介する田河水泡の



描く「のらくろ」は、昭和六年から少年俱楽部に連載された、子どもたちに圧倒的な人気を得た漫画である。犬の軍隊生活を描いて、世相を巧みに諷刺し、太平洋戦争下では一時休載を余儀なくされた。

しかし、発売当初、読み手となるはずの子どもたちには、この雑誌はほとんど読まれることはなかつた。というのも、当時、子どもの雑誌などは贅沢品で、祭の夜店で漫画・絵本を買ってもらう程度で、教科書が子どもにとって、初めての本であつたという例が少なくなかつたのである。

## 少年少女雑誌



### \*山本七平の智恵

PHP研究所

谷沢 永一

¥1700

### \*新しい日本のために

講談社

加藤 寛他

¥1500

### \*子どもの肖像

紀伊國屋書店

谷川俊太郎

¥2000

### \*日本語の勝利

講談社

リービ英雄

¥1700

### \*日本語教師という仕事

ジャパン タイムズ

佐々木瑞枝

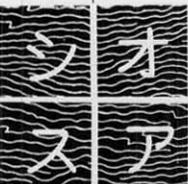
¥1500

日本語教育の専門家である著者が、日本語教師をめざす人へ、理論と経験の両面から、易しく説き明かしている。

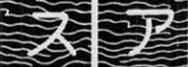
母語の違う外国人に、短期間で日本語を習得させるには、体系的な指導が必要である。ともすると繰り返しと模倣に頼って日本語の世界に生きてきた者にとって、はじめて気づかれる言葉のきまりの何と周密精到なことか。

最近、日本語教育の成果が、少しずつ国語教育の中に取り入れられてきている。

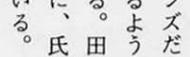
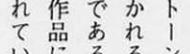
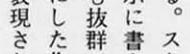
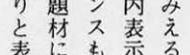
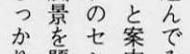
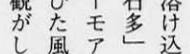
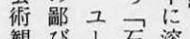
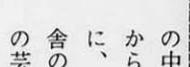
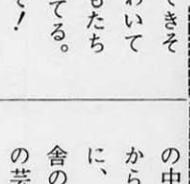
お玉杓子の姿を見ることの少なくなるこの頃であるが、どこから現れるのか毎年三月になると、学校の池にひき蛙が産卵し、四月には数え切れないほどのお玉杓子が泳ぎ出す。街中とはいえ、まだ残る自然に感謝し、生き物の逞しい生命力に驚嘆するのである。



新年度、新学期。「新」という文字には不思議な力がある。今までやれなかつたことが、今年こそできそうな気がしてくる。新しい希望がわいてくる。その力にとりつかれて子どもたちは、「今年も頑張ろう」と誓いを立てる。私も同じである。今年こそ頑張るぞ!



新しい先生が職場の仲間入りをした。自分自身の新任時代を思い出す。毎日のように怒鳴り、失敗の連續であつた教師一年目。しかし、教師が体ごとぶつかつていけば、必ずその熱意は子どもに伝わるものである。若さが売り物の新任教師の頑張りが楽しみである。



題字  
・タイトルバック  
・表紙写真  
・表紙詩  
・カット

岡崎市長  
河合中  
六名小  
六名小

中根鎮夫  
相川加藤伸  
藤尾光伸  
たくみ子

・表紙詩  
・カット

岡崎市長  
河合中  
六名小  
六名小

中根鎮夫  
相川加藤伸  
藤尾光伸  
たくみ子

・表紙詩  
・カット

岡崎市長  
河合中  
六名小  
六名小

中根鎮夫  
相川加藤伸  
藤尾光伸  
たくみ子

・表紙詩  
・カット

岡崎市長  
河合中  
六名小  
六名小

中根鎮夫  
相川加藤伸  
藤尾光伸  
たくみ子

・表紙詩  
・カット

岡崎市長  
河合中  
六名小  
六名小

中根鎮夫  
相川加藤伸  
藤尾光伸  
たくみ子

・表紙詩  
・カット

岡崎市長  
河合中  
六名小  
六名小

中根鎮夫  
相川加藤伸  
藤尾光伸  
たくみ子

・表紙詩  
・カット

岡崎市長  
河合中  
六名小  
六名小

中根鎮夫  
相川加藤伸  
藤尾光伸  
たくみ子

・表紙詩  
・カット

岡崎市長  
河合中  
六名小  
六名小

中根鎮夫  
相川加藤伸  
藤尾光伸  
たくみ子

・表紙詩  
・カット

岡崎市長  
河合中  
六名小  
六名小

中根鎮夫  
相川加藤伸  
藤尾光伸  
たくみ子

・表紙詩  
・カット

岡崎市長  
河合中  
六名小  
六名小

中根鎮夫  
相川加藤伸  
藤尾光伸  
たくみ子

・表紙詩  
・カット

岡崎市長  
河合中  
六名小  
六名小

中根鎮夫  
相川加藤伸  
藤尾光伸  
たくみ子

・表紙詩  
・カット

岡崎市長  
河合中  
六名小  
六名小

中根鎮夫  
相川加藤伸  
藤尾光伸  
たくみ子

・表紙詩  
・カット

岡崎市長  
河合中  
六名小  
六名小

中根鎮夫  
相川加藤伸  
藤尾光伸  
たくみ子

・表紙詩  
・カット

岡崎市長  
河合中  
六名小  
六名小

中根鎮夫  
相川加藤伸  
藤尾光伸  
たくみ子

・表紙詩  
・カット

岡崎市長  
河合中  
六名小  
六名小

中根鎮夫  
相川加藤伸  
藤尾光伸  
たくみ子

・表紙詩  
・カット

岡崎市長  
河合中  
六名小  
六名小

中根鎮夫  
相川加藤伸  
藤尾光伸  
たくみ子

・表紙詩  
・カット

岡崎市長  
河合中  
六名小  
六名小

中根鎮夫  
相川加藤伸  
藤尾光伸  
たくみ子

・表紙詩  
・カット

岡崎市長  
河合中  
六名小  
六名小

中根鎮夫  
相川加藤伸  
藤尾光伸  
たくみ子

・表紙詩  
・カット

岡崎市長  
河合中  
六名小  
六名小

中根鎮夫  
相川加藤伸  
藤尾光伸  
たくみ子

・表紙詩  
・カット

岡崎市長  
河合中  
六名小  
六名小

中根鎮夫  
相川加藤伸  
藤尾光伸  
たくみ子

・表紙詩  
・カット

岡崎市長  
河合中  
六名小  
六名小

中根鎮夫  
相川加藤伸  
藤尾光伸  
たくみ子

・表紙詩  
・カット

岡崎市長  
河合中  
六名小  
六名小

中根鎮夫  
相川加藤伸  
藤尾光伸  
たくみ子

・表紙詩  
・カット

岡崎市長  
河合中  
六名小  
六名小

中根鎮夫  
相川加藤伸  
藤尾光伸  
たくみ子

・表紙詩  
・カット

岡崎市長  
河合中  
六名小  
六名小

中根鎮夫  
相川加藤伸  
藤尾光伸  
たくみ子

・表紙詩  
・カット

岡崎市長  
河合中  
六名小  
六名小

中根鎮夫  
相川加藤伸  
藤尾光伸  
たくみ子

・表紙詩  
・カット

岡崎市長  
河合中  
六名小  
六名小

中根鎮夫  
相川加藤伸  
藤尾光伸  
たくみ子

・表紙詩  
・カット

岡崎市長  
河合中  
六名小  
六名小

中根鎮夫  
相川加藤伸  
藤尾光伸  
たくみ子

・表紙詩  
・カット

岡崎市長  
河合中  
六名小  
六名小

中根鎮夫  
相川加藤伸  
藤尾光伸  
たくみ子

・表紙詩  
・カット

岡崎市長  
河合中  
六名小  
六名小

中根鎮夫  
相川加藤伸  
藤尾光伸  
たくみ子

・表紙詩  
・カット

岡崎市長  
河合中  
六名小  
六名小

中根鎮夫  
相川加藤伸  
藤尾光伸  
たくみ子

・表紙詩  
・カット

岡崎市長  
河合中  
六名小  
六名小

中根鎮夫  
相川加藤伸  
藤尾光伸  
たくみ子

・表紙詩  
・カット

岡崎市長  
河合中  
六名小  
六名小

中根鎮夫  
相川加藤伸  
藤尾光伸  
たくみ子

・表紙詩  
・カット

岡崎市長  
河合中  
六名小  
六名小

中根鎮夫  
相川加藤伸  
藤尾光伸  
たくみ子

・表紙詩  
・カット

岡崎市長  
河合中  
六名小  
六名小

中根鎮夫  
相川加藤伸  
藤尾光伸  
たくみ子

・表紙詩  
・カット

岡崎市長  
河合中  
六名小  
六名小

中根鎮夫  
相川加藤伸  
藤尾光伸  
たくみ子

・表紙詩  
・カット

岡崎市長  
河合中  
六名小  
六名小

中根鎮夫  
相川加藤伸  
藤尾光伸  
たくみ子

・表紙詩  
・カット

岡崎市長  
河合中  
六名小  
六名小

中根鎮夫  
相川加藤伸  
藤尾光伸  
たくみ子

・表紙詩  
・カット

岡崎市長  
河合中  
六名小  
六名小

中根鎮夫  
相川加藤伸  
藤尾光伸  
たくみ子

・表紙詩  
・カット

岡崎市長  
河合中  
六名小  
六名小

中根鎮夫  
相川加藤伸  
藤尾光伸  
たくみ子

・表紙詩  
・カット

岡崎市長  
河合中  
六名小  
六名小

中根鎮夫  
相川加藤伸  
藤尾光伸  
たくみ子

・表紙詩  
・カット

岡崎市長  
河合中  
六名小  
六名小

中根鎮夫  
相川加藤伸  
藤尾光伸  
たくみ子

・表紙詩  
・カット

岡崎市長  
河合中  
六名小  
六名小

中根鎮夫  
相川加藤伸  
藤尾光伸  
たくみ子

・表紙詩  
・カット

岡崎市長  
河合中  
六名小  
六名小

中根鎮夫  
相川加藤伸  
藤尾光伸  
たくみ子

・表紙詩  
・カット

岡崎市長  
河合中  
六名小  
六名小

中根鎮夫  
相川加藤伸  
藤尾光伸  
たくみ子

・表紙詩  
・カット

岡崎市長  
河合中  
六名小  
六名小

中根鎮夫  
相川加藤伸  
藤尾光伸  
たくみ子

・表紙詩  
・カット

岡崎市長  
河合中  
六名小  
六名小

中根鎮夫  
相川加藤伸  
藤尾光伸  
たくみ子

・表紙詩  
・カット

岡崎市長  
河合中  
六名小  
六名小

中根鎮夫  
相川加藤伸  
藤尾光伸  
たくみ子

・表紙詩  
・カット

岡崎市長  
河合中  
六名小  
六名小

中根鎮夫  
相川加藤伸  
藤尾光伸  
たくみ子

・表紙詩  
・カット

岡崎市長  
河合中  
六名小  
六名小

中根鎮夫  
相川加藤伸  
藤尾光伸  
たくみ子

・表紙詩  
・カット

岡崎市長  
河合中  
六名小  
六名小

中根鎮夫  
相川加藤伸  
藤尾光伸  
たくみ子

・表紙詩  
・カット

岡崎市長  
河合中  
六名小  
六名小

中根鎮夫  
相川加藤伸  
藤尾光伸  
たくみ子

・表紙詩  
・カット

岡崎市長  
河合中  
六名小  
六名小

中根鎮夫  
相川加藤伸  
藤尾光伸  
たくみ子

・表紙詩  
・カット

岡崎市長  
河合中  
六名小  
六名小

中根鎮夫  
相川加藤伸  
藤尾光伸  
たくみ子

・表紙詩  
・カット

岡崎市長  
河合中  
六名小  
六名小

中根鎮夫  
相川加藤伸  
藤尾光伸  
たくみ子

・表紙詩  
・カット

岡崎市長  
河合中  
六名小  
六名小

中根鎮夫  
相川加藤伸  
藤尾光伸  
たくみ子

・表紙詩  
・カット

岡崎市長  
河合中  
六名小  
六名小

中根鎮夫  
相川加藤伸  
藤尾光伸  
たくみ子

・表紙詩  
・カット

岡崎市長  
河合中  
六名小  
六名小

中根鎮夫  
相川加藤伸  
藤尾光伸  
たくみ子

・表紙詩  
・カット

岡崎市長  
河合中  
六名小  
六名小

中根鎮夫  
相川加藤伸  
藤尾光伸  
たくみ子

・表紙詩  
・カット

岡崎市長  
河合中  
六名小  
六名小

中根鎮夫  
相川加藤伸  
藤尾光伸  
たくみ子

・表紙詩  
・カット

岡崎市長  
河合中  
六名小  
六名小

中根鎮夫  
相川加藤伸  
藤尾光伸  
たくみ子

・表紙詩  
・カット

岡崎市長  
河合中  
六名小  
六名小

中根鎮夫  
相川加藤伸  
藤尾光伸  
たくみ子

・表紙詩  
・カット

岡崎市長  
河合中  
六名小  
六名小

中根鎮夫  
相川加藤伸  
藤尾光伸  
たくみ子

・表紙詩  
・カット

岡崎市長  
河合中  
六名小  
六名小

中根鎮夫  
相川加藤伸  
藤尾光伸  
たくみ子

・表紙詩  
・カット

岡崎市長  
河合中  
六名小  
六名小

中根鎮夫  
相川加藤伸  
藤尾光伸  
たくみ子

・表紙詩  
・カット